

# 橋本市長期総合計画策定方針

市民ワークショップ

【未定稿】



hashimoto

平成 28 年

橋本市

## ■開催について

実施日	テーマ	対象	参加人数
平成28年 9月24日(土)	将来こんなまちになって欲しい、そのためにこんな事をしたら良いと思うこと	高校生	16人
平成28年 10月15日 (土)	これからの学校と地域づくりについて	PTA	30人
平成28年 11月12日 (土)	妊娠から出産・子育てが充実したまち (子育て、結婚、医療、保健、教育福祉連携について)	市民	14人
平成28年 12月3日(土)	地域の活性化と定住できるまちづくり (商工業、観光、雇用、婚活、定住について)	市民	12人
平成29年 1月21日(土)	高齢者がいきいきと暮せるまちづくり (地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉について)	市民	11人
平成29年 2月18日(土)	人が学びあい、共に育むまちづくり (教育、文化、生涯学習、芸術、スポーツについて)	市民	
平成29年 3月18日(土)	安全・安心のまちづくり (防災、防犯、交通、環境、景観について)	市民	



「はしぼう」

## はしもと近未来予想図が開催されました

### 橋本市長期総合計画策定に向けた高校生ワークショップの開催

■開催日：2016年 9月24日（土） AM9:00～ AM11:30

■場所：橋本市教育文化会館（第3研修室）

平成28年9月24日（土）に、将来の橋本市を担う若い人達のフレッシュな意見をお聞きし、「住んでよかった、住みたくなるまち」を目指し、みなさんのアイデアを持ち寄って、橋本市の未来について意見を出し合いました。

橋本市内の高校生16名の参加で、3つのグループに分かれてテーマ毎に話し合い、様々な意見・提案が出されました。最後に各班で意見のまとめを発表していただきました。



#### 各グループから出された主な意見

#### テーマ1 「橋本市の将来像について」

○将来こんなまちになるなら、橋本市に住んでみたいと思うことについて

- ・仕事があって就職しやすいまち。
- ・交通の便が良いまち。
- ・教育が充実しているまち。
- ・働きやすいまち。
- ・買い物する場所がたくさんあるまち。
- ・スポーツが盛んなまち。
- ・こどものためのまち。
- ・高齢者が住みやすいまち。
- ・活気、イベントがあるまち。

等

#### [当日の進行]

- ◇開催のあいさつ
- ◇橋本市の現況について
- ◇進め方について説明
- ◇グループ討議（班別）

#### テーマ1

##### ①橋本市の将来像について

「将来こんなまちになるなら、橋本市に住んでみたいと思うことについて」

#### テーマ2

##### ②将来像の実現方法

「そのためには、こんな事をしたらよいと思うことや自分達にもできそうなことについて」

- ・班ごとに意見を出し合う
- ・各班の発表を行い、全体で共有する

◇全体のまとめ



## テーマ2 「将来像の実現方法について」

○将来像を実現させるために、こんな事をしたらよいと思うこと

- ・大手中小企業をもう少し増やす。
- ・地元企業の体験学習を増やす。
- ・コミュニティバスの本数を増やす。
- ・交通網を整備する。
- ・レベルの高い高校を増設する。
- ・公民館や集会所に自習室をつくる。
- ・子育て中のお母さんや家族を応援するような企画や施設を整備する。
- ・橋本市のイベントやお店などをもっとPRする。 等



○将来像を実現させるために、自分達にできそうなこと

- ・橋本市の良さを SNS で配信する。
- ・就職するときは、できるだけ橋本に戻ってくる。
- ・バスにもっと積極的に利用する。
- ・橋本市の自然を活かした遊びなど、自分たちで工夫する。
- ・子育てのサークルやそれを支える団体に入る。(大人になったら)
- ・見かけたゴミを拾ったり駅や公共施設のトイレをきれいに使う。
- ・地域のイベントに参加する。 等





## はしもと近未来予想図が開催されました

### 市PTA連合会ワークショップの開催

■開催日：2016年 10月15日（土） ■場所：教育文化会館4F（展示室）

#### 「はしぼう」

平成 28 年 10 月 15 日（土）に、橋本市内の PTA 活動に参加されている方を対象に「地域・家庭・学校の連携、そして行政との連携から生まれるまちづくり」について意見をお聞きし、「住んでよかった、住みたくなるまち」を目指し、みなさんのアイデアを持ち寄って、橋本市の未来について意見を出し合いました。

橋本市内の各学校の PTA 活動に参加されている方 30 名の参加で、5 つのグループに分かれてテーマ毎に話し合い、様々な意見・提案が出されました。最後に各班で意見のまとめを発表していただきました。



#### 各グループから出された主な意見

#### 「これからの学校と地域づくりについて」

##### テーマ1 「橋本市の将来像について」

現状と課題、問題園や困っていることはなにか

##### <学校や先生のことについて>

- ・ 教員不足による指導力、学力の低下
- ・ 教育改革等進めているが持続していけるかが不安
- ・ 2 学期制の良さがわからない
- ・ 小学校、中学校の連携や交流が不足
- ・ 少子化によるクラス数の減少
- ・ 廃校した学校の新たな活用
- ・ ホームページ等でわかりやすく情報を公開する
- ・
- ・

##### [当日の進行]

- ◇開催のあいさつ
- ◇PTA 連合会長あいさつ
- ◇進め方について説明
- ◇グループ討議（班別）

##### 「これからの学校と地域づくりについて」

##### テーマ 1

##### ①橋本市の将来像について

「将来こんなまちになるなら、橋本市に住んでみたいと思うことについて」

##### テーマ 2

##### ②将来像の実現方法

「そのためには、こんな事をしたらよいと思うことや自分達にもできそうなことについて」

- ・ 班ごとに意見を出し合う
- ・ 各班の発表を行い全体で共有する

◇全体のまとめ

現状を少しでも良くするために来年度以降（将来）はこういう姿をめざしたい

- ・ 子どもに影響のある先生を増やしてもらいたい
- ・ 習熟度別とか少人数制の対応や工夫をする
- ・ 中学校のように小学校も副担任がいるようにする
- ・ 2 学期制について学校や教育委員会からの説明を十分に
- ・ 他校の教員との体験交換などを通じて情報交換する
- ・ 国に定められた人数に関係なく柔軟に学校の生徒数に合わせた先生の増員や配置をする
- ・ 集団登校ができる学校

現状と課題、問題園や困っていることはなにか

### <PTA 活動について>

- ・ PTA に入ってくれる人が少ない
- ・ PTA のつながりが強いので入りにくい
- ・ PTA 役員以外の保護者との交流の場がほとんどない
- ・ 同じ方が PTA 役員をされている

### <遊ぶ場所や放課後の活用について>

- ・ 遊ぶ場所、公園などが少ない
- ・ インターネットの普及により外で遊ばない子が増えている
- ・ 子ども達が勉強する場所や勉強を教えてもらう人がほしい
- ・ 地域の公園などの老朽化

### <その他>

- ・ 地域の治安の悪化
- ・ 地域行事の縮小（子ども会やイベント）
- ・ 地域内の交流減少
- ・ 中学校の統廃合による通学路の再整備

現状を少しでも良くするために来年度以降（将来）はこういう姿をめざしたい

- ・ 地域、保護者同士のつながりを良くする
- ・ PTA 役員をくじ引き等平等に決め、出来るだけ無理がないよう役員の仕事を減らす
- ・ 父親も含め積極的に参加してもらう
- ・ 先生と PTA の関係を良くする

- ・ 親も安心できる子どもが集まれる場所を整備する
- ・ インターネットを活用した学習方法の検討
- ・ 廃校した西部中学校などの跡地の活用（学習の場やスポーツ広場として開放）
- ・ 放課後の学校開放や勉強を教えてくれるボランティアの募集や呼びかけ

- ・ バス停などに地域の見守りの人がいる安心したまち
- ・ 新たなイベントの企画（民間業者を活用した）等



## 「これからの学校と地域づくりについて」

### テーマ2 「橋本市の将来像を実現するためについて」

将来像を実現するために何をすべきか、したら良いとおもうこと

- ・ 学校同士の連携を強化
- ・ 学校と保護者が意見交換等できる環境づくり
- ・ 学校の統合による安全な通学路の整備
- ・ 教育関連の予算を増やす
- ・ 学校と関わるために、保護者が気軽に足を運べるような行事や場所交流ルーム（ボランティアルームをつくる
- ・ 学校での情報交換や情報公開をもっとわかりやすくする
- ・ 先生の負担を減らすなど、教職員の配置や増員について検討する
- ・ 学校側からのボランティアの呼びかけ
- ・ 公民館など高校生が使えるように開放する
- ・ 高校生や大学生によるボランティア協力
- ・ ボランティア活動の内容をわかりやすく
- ・ 子ども達が卒業しても地域の一員として参加ができる行事を増やす

将来像を実現するために自分達（PTA として・個人として）でできそうなこと

＜PTA としてできそうなこと＞

- ・ PTA 同士の情報交換の場を増やす
- ・ PTA 活動を継続するために地域の方々と連携を強化する
- ・ 他団体など豊富な経験をもった方の講演会などの開催し興味をもってもら
- ・ 地域の声、保護者の声を学校に提供し実現できるよう調整する
- ・ 保育の現状を地域や行政に伝え問題や課題を認識してもら

＜個人としてできそうなこと＞

- ・ 学校行事への参加と呼びかけを行う
- ・ 保護者達の地域のコミュニケーションの場をつくる
- ・ 通学路の見守りや地域の見守りをする
- ・ 自らが楽しんで楽しさを発信していく

等





## はしもと近未来予想図が開催されました

### 第1回 妊娠・出産～子育てワークショップの開催

■開催日：2016年 11月12日（土） ■場所：橋本市民会館1F（ギャラリー）

#### 「はしぼう」

平成28年11月12日（土）に、「妊娠・出産～子育てまで切れ目ない支援を行うために教育と福祉の連携や子育て世代の包括支援に取り組むことや地域コミュニティの推進をはかるため、子育てと地域の連携をどのように創り上げていけるか意見を出し合いました。

橋本市内の子育て世代の方を中心に14名の参加で、3つのグループに分かれてテーマ毎に話し合い、様々な意見・提案が出されました。最後に各班で意見のまとめを発表していただきました。



#### 各グループから出された主な意見

### 「子育てから始まる地域づくりについて」

#### テーマ1 「橋本市の将来像について」

現状と課題、問題点や困っていることはなにか

##### <妊娠について>

- ・ 出会いがない。結婚しない人が増えている。
- ・ 産婦人科や小児医療の不足
- ・ 晩婚化により、妊娠できにくくなっている
- ・ 不妊治療や妊娠中の医療費が高額である
- ・ ひとり親世帯が増えており、自立できない親が増えている

##### <出産について>

- ・ 情報や制度のわかりにくさ、使いにくさ
- ・ 高齢出産の増加に伴う不安の解消方法について
- ・ 母子、父子家庭が増えており、経済面での不安
- ・ 出産への不安、相談相手がいない

#### 【当日の進行】

- ◇開催のあいさつ
- ◇子育て世代包括支援センターについて説明
- ◇進め方について説明
- ◇グループ討議（班別）

#### 「子育てから始まる地域コミュニティ（地域づくり）について」

##### テーマ1

##### ①橋本市の将来像について

「将来こんなまちになるなら、橋本市に住んでみたいと思うことについて」

##### テーマ2

##### ②将来像の実現方法

「そのためには、こんな事をしたらよいと思うことや自分達にもできそうなことについて」

- ・ 班ごとに意見を出し合う
- ・ 各班の発表を行い全体で共有する

◇全体のまとめ

現状を少しでも良くするために来年度以降（将来）はこういう姿をめざしたい

##### <妊娠について>

- ・ 安心できる出会いの場があるまち
- ・ 小児医療等の医療機関が充実したまち
- ・ 妊娠から子育てまでの教育、学習が充実したまち
- ・ 地域で見守り、地域で子どもが育てられるまちづくり

##### <出産について>

- ・ 情報発信を充実し、安心して出産できるまち
- ・ 気軽に相談出来る場所を増やす。
- ・ 本当に困っている家庭への支援策（経済面、施策面）の充実を図る。
- ・ 臨床心理士などの医師による講演会の開催など、子育て中のお母さんが安心できるまち



現状と課題、問題園や困っていることはなにか

### <子育て>

- ・親の子育て力の低下
- ・近所づきあいの希薄のため地域で子育てできていない
- ・子育てについて学ぶ機会がない
- ・父親について育児への協力不足
- ・安心して子育てできる制度が未完成
- ・働き方に応じた保育環境、制度が不足
- ・希望する保育園に入れない
- ・職場復帰がスムーズにいこうにする(保育所の確保)

等



現状を少しでも良くするために来年度以降(将来)はこういう姿をめざしたい

### <子育て>

- ・地域の高齢者と連携した子育て支援ができる仕組みづくり
- ・父親の育児参加があたりまえにできるまち
- ・イベントを通じ、地域住民との連携を強め安心した子育て
- ・女性が安心して働ける子育て環境が整ったまち
- ・子どもを安心して遊ばせることができる環境づくり
- ・自然豊かなところで遊べる場所があるまち
- ・子ども達が心が豊かになるまち

等



## 「子育てから始まる地域づくりについて」

### テーマ2 「橋本市の将来像を実現するためについて」

将来像を実現するために何をすべきか、したら良いとおもうこと

#### <妊娠について>

- ・出会いの場づくり(企業を巻き込んだ婚活パーティや結婚講座の企画、コーディネーターづくり)
- ・家庭支援員の育成や学習の場の提供
- ・不妊治療に対する補助の増額
- ・赤ちゃんとのふれあいの場づくり(小中学校で乳幼児との交流の場を増やし、命の大切さや妊娠、出産についての授業を取入れる)

将来像を実現するために(個人として・グループ、友達・団体や組織)できそうなこと

#### <個人としてできそうなこと>

- ・子育てに限らず様々な相談に答える
- ・親から子どもへ子育てについて伝える

#### <グループ・友達できそうなこと>

- ・地域の交流強くする
- ・集まれる場をつくる

#### <団体や組織できそうなこと>

- ・ホームページなどで情報を配信する

将来像を実現するために何をすべきか、したら良いとおもうこと

将来像を実現するために（個人として・グループ、友達・団体や組織）できそうなこと

<出産について>

- ・相談窓口支援（窓口の増加）
- ・救急医療、休日診察等の医療体制の強化
- ・小児医療施設等の充実

<個人としてできそうなこと>

- ・公民館活動等（子育てサークル）への積極的な参加
- ・子育て中のお母さんに声かけ（困り事がないか）
- ・子どもの一時あずかり

<子育てについて>

- ・教育コミュニティの強化  
（公民館等の施設を利用し親と子どもと一緒に遊べるイベントなど子育てのづくり）
- ・安全、安心な場所の整備  
（図書館を新しくし、様々な年代の憩いの場とする）
- ・手当の充実  
（子育て世帯への手当の助成や支援）

<グループ・友達できそうなこと>

- ・出会いの場づくりの協力（独身者の紹介）
- ・子育てについてボランティア活動の参加

<団体や組織できそうなこと>

- ・小学校単位での教育コミュニティの育成（地域ぐるみで）
- ・市と連携し情報の提供（困って人、要望の伝達）
- ・自治会活動で子育てを支援できないか

等

等





## はしもと近未来予想図が開催されました

### 第2回 地域の活性化と定住できるまちづくりの開催

■開催日：2016年 12月3日（土） ■場所：橋本市民会館1F（ギャラリー）

#### 「はしぼう」

平成 28 年 12 月 3 日（土）に、地域の活性化と定住できるまちづくりについて「住んでよかった住みたくなるまち」となるよう市民の方々で様々な意見を出し合いました。

当日は、12 名の方が参加していただきました。会議は、3 つのグループに分かれてテーマ毎に話し合い、様々な意見・提案が出されました。最後に各班で意見のまとめを発表していただきました。



#### 各グループから出された主な意見

##### 「づくりについて」

##### テーマ1 「地域の活性化と定住できるまちづくり」について

現状と課題、問題園や困っていることはなにか

###### <産業について>

- ・市内での雇用の場が少ない。
- ・若者の仕事がない。
- ・子育てしながら働ける環境が少ない。
- ・橋本特有の農産物、ブランドがない。
- ・地場産品の周知が地元浸透していない。
- ・大手企業が橋本から出て行っている。
- ・橋本駅前商店街の衰退。 等

###### <観光について>

- ・ここという観光スポットが無い。
- ・黒河道などの案内板の整備が必要。
- ・外への情報発信。（PR不足）
- ・年間通じて行きたくなる場所（スポット）が少ない。

等

##### 【当日の進行】

- ◇開催のあいさつ
- ◇「橋本が大好き～橋本が大好きになる住んでよかった住みたくなるまちへ～」について説明
- ◇ワークショップの進め方について説明
- ◇グループ討議（班別）

##### 「地域の活性化と定住できるまちづくり」

###### テーマ 1

###### ①橋本市の将来像について

「将来こんなまちになるなら、橋本市に住んでみたいと思うことについて」

###### テーマ 2

###### ②将来像の実現方法

「そのためには、こんな事をしたらよいと思うことや自分達にもできそうなことについて」

- ・班ごとに意見を出し合う
- ・各班の発表を行い全体で共有する

◇全体のまとめ

現状を少しでも良くするために来年度以降（将来）はこういう姿をめざしたい

###### <産業について>

- ・大手企業やITベンチャー企業等が橋本に移転できるまちを目指す。
- ・女性が働きやすいまちを目指す。
- ・産業の活性化を目指す。
- ・高野口などの地場産業が元気なまちを目指す。
- ・駅前にカフェなど、にぎやかなまちを目指す。
- ・後継者が生まれる産業づくりを目指す。等

###### <観光について>

- ・駅前が観光客でにぎわっているまち。
- ・また来たい。もう少し滞在したいと思えるまちを目指す。
- ・年間通じてイベントで賑わうまちを目指す。
- ・応其上人や歴史を大切にしたいまち。

等

現状と課題、問題園や困っていることはなにか

### <定住について>

- ・若者からすると魅力が弱い。
- ・空き家の情報が少ない。
- ・空き家バンクを知っている人が少ない。
- ・空き家を提供してもらえないので、移住者が来ない。
- ・橋本に住み、橋本で働きたい人が多い。
- ・定住してもらうには、何となく中途半端。
- ・車が無いと移動が不便。
- ・大阪からのアクセスが悪い。
- ・リタイヤした方の移住は、バスなどの交通環境が重要。

等



現状を少しでも良くするために来年度以降 (将来) はこういう姿をめざしたい

### <定住について>

- ・子ども達がにぎやかで、女性が働きやすいまち。
- ・便利な田舎まちを目指す。
- ・空き家を生かした、田舎生活ができるまち。
- ・文化、教育、医療コミュニティーの充実したまち。
- ・老若男女がコミュニケーションを通じて生きがいのある地域づくり。
- ・移住者の受け入れ体制があるまち。
- ・新旧住民の交流が盛んなまち。

等



## 「子育てから始まる地域づくりについて」

### テーマ2 「橋本市の将来像を実現するためについて」

将来像を実現するために何をすべきか、したら良いとおもうこと

#### <産業について>

- ・企業誘致の拡大。
- ・成長力のある企業を誘致。
- ・ITや農業を中心とした企画誘致。
- ・テレワークの活用。
- ・農業、工芸品等の産業体験ツアーを作る。
- ・「日本一」となる橋本を活かしたものづくり。
- ・駅前の空き家等を活用したおしゃれな飲食店の誘致
- ・商店主の意識改革。
- ・高齢者も働ける企業への支援。
- ・新たに起業する人への支援。

等

将来像を実現するために(個人として・グループ、友達・団体や組織)でできそうなこと

#### <個人やグループとしてできそうなこと>

- ・働ける高齢者に声をかける。
- ・花など植えまちをカラフルにする。
- ・もう一度橋本を良く知る。

#### <団体や組織できそうなこと>

- ・基金などを作っている支援をする。
- ・飲食や観光などのパンフレットづくり。

等

将来像を実現するために何をすべきか、したら良いとおもうこと

<観光について>

- ・ 駅前の活性化事業。
- ・ 国際化を踏まえた観光客受入れ。
- ・ 高野山、吉野など広域的な連携。
- ・ 留学生を活用したインバウンド。
- ・ 宿泊施設の誘致。
- ・ わが町自慢や特集など広報発信の強化。

<定住について>

- ・ 子ども達が戻ってくる仕組みづくり。
- ・ 学校単位で地域コミュニティの事業を強化する。
- ・ 橋本のまち案内や歴史体験ツアーの実施。
- ・ 教育の充実、子育ての支援。
- ・ 3世代同居、近居を推進。
- ・ 若者が参加が出来るよう、自治会活動の見直し。

等



将来像を実現するために（個人として・グループ、友達・団体や組織）できそうなこと

<個人やグループとしてできそうなこと>

- ・ SNS を通じて、橋本市の良さを発信。
- ・ 空き家利用の交渉。
- ・ ボランティアとしての支援。
- ・ 情報交換や交流。
- ・ 市外の友人に橋本の良さを伝える。
- ・ 一人では限界があるが、グループで知恵を出し合い情報交換する。
- ・ 地域コミュニティ間の交流や参加。

<団体や組織できそうなこと>

- ・ 団体から移住者を呼び込むこと。
- ・ 自治会規約の改正、意識改革が必要。
- ・ 個人が持っている文化資源などをジョイントしたイベントの開催。

等

